

分析化学実習

(Analytical Chemistry, Lab.)

担当教員名: 准教授 安井 裕之、助教 吉川 豊

【概要】

中和滴定、キレート滴定、電位差滴定など分析化学の基本的技能を修得し、酸およびアルカリ物質の定量、無機物質の定量、および酸解離定数の測定など重要な分析化学の項目について理解を深める。

【授業の一般目標】

医薬品を含む化学物質をその性質にもとづいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本的技能を修得する。特に、酸・塩基平衡および錯体・キレート生成平衡について基本的知識と測定の基本的技能を修得する。

【成績評価方法・基準】出席、実習態度およびレポートで評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

実習室には複数の教員、ティーチングアシスタントが常駐しているので、実習中に分からなくなった場合、遠慮なく質問して欲しい。また、実習終了後も質問は随時、代謝分析学教室で受け付ける。